

別頁

恒春園にて

水原

秋櫻子

秋蟬や葛葉家そいゆる甘露花哲居

秋蟬のホタけの雨の嵐めく

秋蟬や竹の葉とびて雨あらず

百日紅褪せて書斎に塵もふく

誰か供華を参の熟れ襦袢が甘露花の香に

むさしの、新涼の雨に甘露水たり

4
1
X